

公益財団法人への移行のご挨拶

このたび、鉄道弘済会は内閣総理大臣より認定を受け、2013年10月1日をもって「公益財団法人 鉄道弘済会」として新たに出発致しました。

当会は、1932年（昭和7年）片岡諤郎・堀木鎌三・高橋定一の三氏が構想し、当時危険な鉄道の仕事に従事し、不幸にも殉職した職員の遺家族、或いは身体に障害を負って退職の止むなきに至った職員等を救済・援護する財団法人として設立されました。

爾来、統制経済の下、物資不足の戦中にあっても戦災により多くの資産を亡失した戦後にあっても、先輩達の必死の努力により会の運営は維持・継続されて参りました。

そして、1949年（昭和24年）には、戦後の新体制の下で寄附行為を改正し、それまでの国鉄関係者に限定した職域福祉団体から、広く一般福祉を实践する財団法人へと大きく生まれ変わりました。

更に、1987年（昭和62年）国鉄の分割民营化に伴い、大きな収益源であったキヨスク事業を分離し、ここに、鉄道弘済会は自ら保有する資産を活用することによって、児童福祉、身体障害者福祉、知的障害児・者福祉から老人福祉まで、幅広く公益事業を運営する自立型財団法人としての途を歩むこととなりました。

そしてこの度、新しい公益法人制度改革に対応して当会は「公益財団法人 鉄道弘済会」として創立以来、三度目の変革を迎えることとなりました。

鉄道の先人達は、未だ社会福祉という概念がしっかりと確立していない時代にあっても、社会正義を実現しようとする明確な意思を持って当会を創立し、以来終始一貫貧困や社会的弱者に視線を送り続け、救済・援護に邁進して参りました。

私達は、この高い志を受け継ぎ、これからの時代における民間の果たすべき公益の役割をしっかりと認識し、「福祉の鉄道弘済会」として歩んで参りたいと存じます。

今後とも、皆様より一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年10月吉日

公益財団法人 鉄道弘済会
会 長 佐々木 信幸